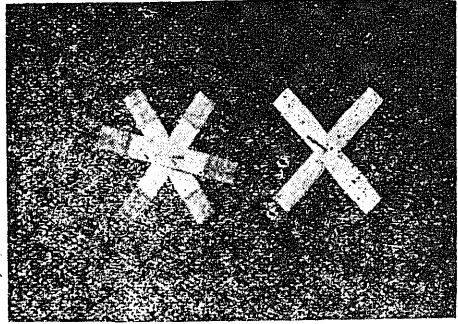


たのしい あしぞこ

(こ ま)



及 川 ふ み

幼児の製作への初めの導入については、この「幼児の教育」の一月号に詳細述べたので、重複をさけてここでは省略するのであるが、この号だけの読者の方はその号をお読み下さいれば幸である。

☆ ☆

さて四月はどちらの幼稚園でも、保育所でも新入の可愛らしい幼児を沢山に迎えて忙し
い中に大きなよろこびが満ちている。

楽しい、うれしい私たちの幼稚園という感じを幼児自身が身につく様になることをすべての指導の、第一目標として、先生と子どもたちと大いに一緒に遊ぶということである。

☆ ☆

園庭にあるブランコ、スベリ台、太鼓橋などの運動具もよく使うことは云うまでもない又、新入の幼児たちも、よく知つていそうないレコードもいろいろかけて、新しい生活の不安をさけて、幼児の気分が平になる様心がけ、面白い紙芝居や、人形芝居をみてよろこび、面白い先生のお話を楽しくきくことな

ど、よろこぶ幼児たちの顔を眼前に映して新入幼児の遊びの誘導を考えたいと思われる。この時に製作も亦、外の様子の幼児の遊びの楽しい一つとしてその最初の導入に気を付けて、楽しい幼稚園生活の気分をこわさない様にと願うところである。

☆ ☆

これを実際の面で考えると、先づ最初は「楽しいおしごと」を充分に、こどもたちに理解出来る様に、簡単な手作りのおもちやを数多くつくつて一人一人の幼児たちに与えることである。このおもちやで、充分遊ぶことが先づ最初の段階と考えてよい。

この場合にどんなおもちゃが選ばれるか問題である。勿論目ざすところは、製作への結びつきであるから出来るだけ、作り方の簡単なもの、従つて使うのにも簡単なものがあること、次にその製作についての材料の費用の僅少ですむものということなどが考えられる。要するに遊びに使うおもちゃということで、作る喜びと、おもちゃとして使う喜びをともに考えたいのである。

こんな条件から云うと、ありふれたもの
はあるが、画用紙や、ボール紙で作った風車
や、コマなどは望ましいおもちゃに近いもの
であると云えよう。

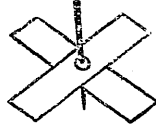
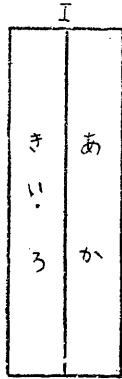
在来のコマとちよつと変つたものをここへ
あげてみることにする。

材料 白ボール紙(お菓子の紙箱)或は

画用紙

つま揚子

つくり方 I



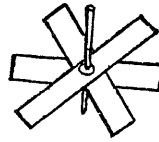
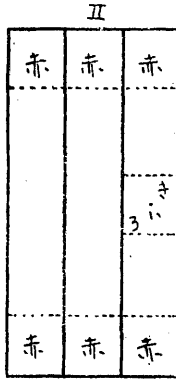
白ボール紙を 幅 一センチ半

長 一〇センチのもの

二本

一本は赤くぬる、一本は黄にぬる
二本を直角に重ねて、かさなりに糊をつけ
て十字にはり合せる。
中央に小さく穴をあけて、それにつま揚子
をさしこむ

つくり方 II



幅 一センチ半

長 一〇センチのもの三本

三本とも、両端二センチ半だけ、赤くぬる
一本の中央二センチ半だけ黄色にぬる。

中央を黄にぬつたものを上にして、下に残

りの二本を同じ間かくに重ねて、重なりを
糊ではり合せる。

中央に小さい穴をあけて、つま揚子をさし
こむ

I IIともつま揚子をさしこんだ部分の上下
に小さいゴム或はごとうの実などでおさえ
ておくと中心の揚子がかかりとする。

この二つのコマは、静止しているときと動
いているときと色が変つて面白い。

及川先生案

たのしいおしごと

第一巻

第二巻

B5版十六枚 定価 四五四

千 一六円

製作は子供達に楽しい興味を呼びおこす
と共に、創意と工夫をますく發揚させる
ものでなければなりません。同時に忘れて
ならない事は製作の環境です。及川先生御
企案の「たのしいおしごと」は、この目標
をもとにして、こども達が実際にたのしく
作り、よく遊んだものをあつめたもので、
大変に御好評をいただきましたをります。